

# 石薬師地区まちづくり計画書

文化と歴史が香り 安全・安心で  
笑顔と活気があふれるまち



石薬師地区明るいまちづくり協議会



# 目 次

## はじめに

- (1) 地域づくり協議会 …… 1
- (2) 地域計画 …… 1
- (3) 地域計画の期間 …… 1

## 1 石薬師地区はこんな地域 … 現状と課題

- (1) 概要 …… 2
- (2) 人口・面積 …… 2
- (3) 住民アンケートを実施 …… 3
- (4) 石薬師地区の長所と課題(住みやすさ) …… 3
- (5) 住んでいて「良かった」と思うこと …… 4
- (6) 住んでいて「良くない」と思うこと …… 4
- (7) 重要度と満足度の相関図 …… 5

## 2 10年後の将来像とまちづくりの目標

- (1) 石薬師地区のまちづくりの将来像 …… 6

## 3 専門部のまちづくり計画書

- (1) 地域自治活動部 …… 7
- (2) 総務広報部 …… 9
- (3) 福祉部 …… 11
- (4) 環境部 …… 13
- (5) スポーツ振興部 …… 15
- (6) 青少年育成部 …… 17
- (7) 歴史文化部 …… 19
- (8) 地域安全部 …… 21

## 4 参考資料

- (1) 地域計画策定経過 …… 23
- (2) 地域計画策定委員会メンバー …… 24
- (3) 住民アンケート結果 …… 25

## はじめに

### 地域づくり協議会

少子高齢化の進行、生活スタイルの変化、これらに伴うニーズ(※1)や価値観の変化、コミュニティ(※2)の希薄化など、様々な課題が私たちの身の回りに発生してきています。

鈴鹿市では、平成24年12月1日に「鈴鹿市まちづくり基本条例」を施行し、「地域の実情または必要に応じて、一定の地域におけるまちづくりに取り組む組織をつくることができる」とし、また、平成31年4月1日には「鈴鹿市地域づくり協議会条例」を施行するなど、地域が行政と連携して地域が抱える課題の解決に努めるとして地域づくりの組織の設立に力を入れてきました。

こうした流れの中で、石薬師地区でも、従前からあった「石薬師地区明るいまちづくり推進協議会」の活動内容や組織を見直し、平成31年度から、新たな「石薬師地区明るいまちづくり協議会」としてまちづくりに取り組んできています。

### 地域計画

地域計画は、地域住民と行政が知恵を出し合い、それぞれの役割分担や責任を明確にし、住民が自分たちで地域の将来像や課題、地域をどうしていきたいかを考え、その課題の解決方法や将来像を実現するための方法などをまとめたものです。

この計画に基づいて、住民自身の手でまちづくりを進めていくことにより、「住民主体のまちづくり」につながり、行政だけでは解決できない地域の実情に基づく課題や情報を、地域と行政で共有することができます。

住民ニーズの多様化・高度化、行政の厳しい財政状況、住民自治の向上、地方分権・地方創生などに的確に対応していくためには、これまでのような行政主導による一律のまちづくりから、住民と行政の協働によるまちづくりを進める「地域計画」が必要と考えます。

### 地域計画の期間

地域計画の期間は、「鈴鹿市総合計画2023」と整合させるため、総合計画の後期基本計画の期間である令和2年度(2020年度)から令和5年度(2023年度)の4年間とします。

※1 ニーズ：必要、需要、要求

※2 コミュニティ：地域社会、共同体

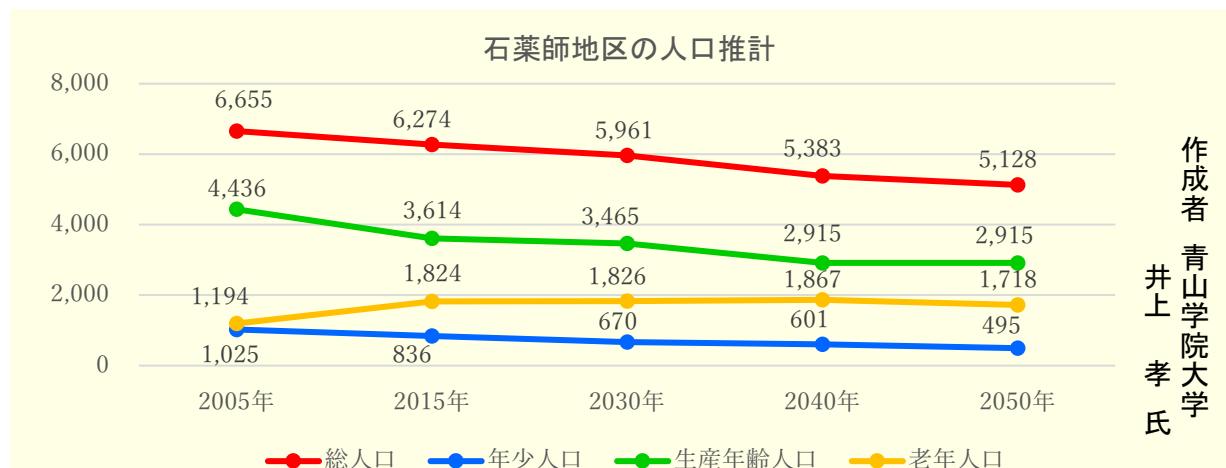
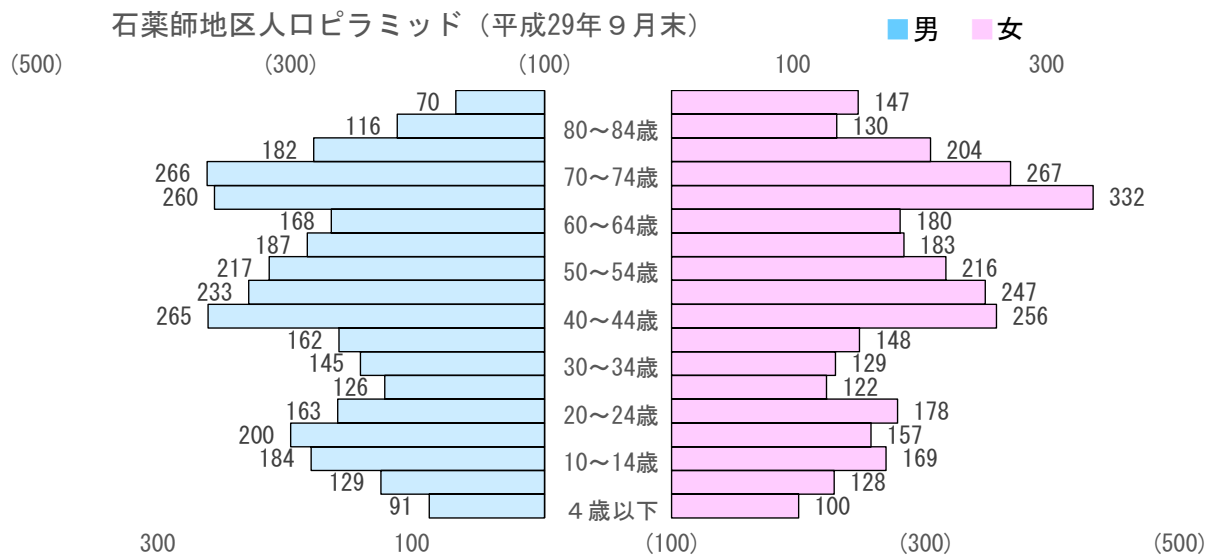
## 1. 石薬師地区はこんな地域…現状と課題

**概要** 石薬師地区は、鈴鹿市の中心部から北西約4kmの地点にあり、概ね鈴鹿川の左岸台地にあります。行政区域としては、北端部で四日市市と接しています。

江戸時代には、東海道五十三次の44番目の宿場となっており、現在でもその名残を旧東海道沿いのところどころで見受けられます。

地域内をかすめるようにJR関西本線が通っていますが、地域内には駅はありません。国道一号線が、旧東海道に沿うように南北に横断しており、昼夜を問わず物流の動脈として大型トラックが通行しています。

**人口** 人口は6,220人、世帯数は2,534世帯（令和元年12月末）で、人口では鈴鹿市の199,882人の3.1%、世帯数では86,854世帯の2.9%に当たっています。面積は9.0km<sup>2</sup>で鈴鹿市194.48km<sup>2</sup>の4.6%で、都市計画地域としては地区全体が市街化調整区域です。

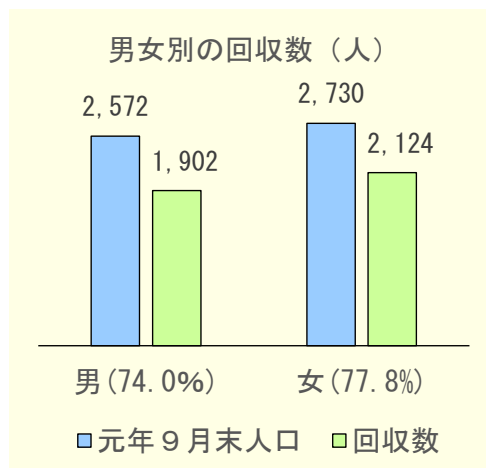


**住民アンケートを実施** 「地域計画」を策定するにあたって、石薬師地区明るいまちづくり協議会（ここから後は「石明協」と表します。）では、令和元年9月に、地区内の18歳以上の人を対象に住民アンケートを行いました。

各地区の自治会長さんらのご協力を得て、各世帯にアンケート用紙を配布し、回収する方法を基本に行い、全体で4,066人の協力を得ることができました。鈴鹿市の資料によると、令和元年9月末時点での石薬師地区の18歳以上の人口は5,302人でしたので、回収率は76.7%という高い数値となっています。

回収率の男女比では、男性が74.0%に対し女性は77.8%とやや多くなっています。（性別の回答なし40人）

（アンケートの集計結果は、参考資料の25ページから収録しています。）



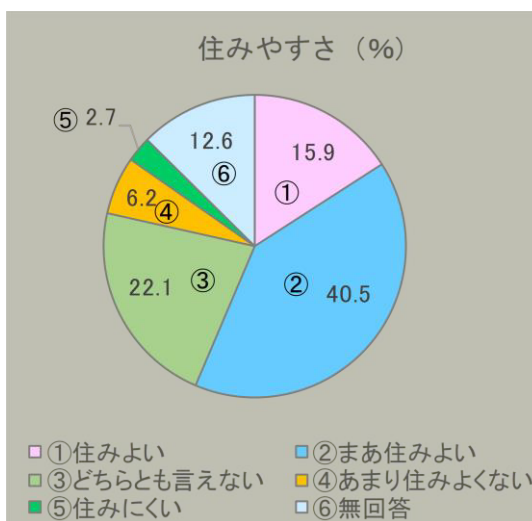
### 石薬師地区の長所と課題

**住みやすさ** 「住みよい」の15.9%と「まあ住みよい」の40.5%を合わせると56.4%となり、半数以上の方は住みやすいと答えています。

一方、「あまり住みよくない」は6.3%、「住みにくい」が2.7%で、住みよくないとした人は合わせても9.0%で、一けた台にとどまっています。

（理由）

- ・津波や大雨による災害や犯罪の心配が少なく、安心・安全である。
- ・自然や緑が多く、静かで環境がいい。
- ・近所同士の付き合いが良い。
- ・多くの友人、知人に恵まれている。
- ・交通機関が少なく、車がないと買い物や通院などに不便。
- ・近くに、商店やコンビニ、病院がない。
- ・騒音、悪臭などの公害。



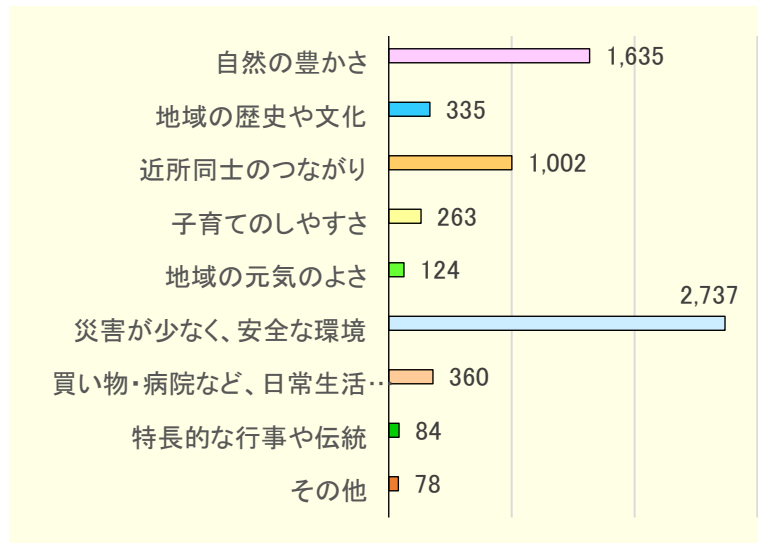
### 住んでいて「良かった」と思うこと

「災害が少なく、安全な環境」がいちばん高く、全体の割合では41.4%の人が挙げています。

次いで、「自然の豊かさ」が選ばれています。鈴鹿川の左岸台地に位置し、鈴鹿の山並みが望めることなどからでしょう。

(理由)

- 水害、津波などの心配がない。
- 生まれ育ったところ、住み慣れたところだから。
- 自然豊かで、環境がいいから。



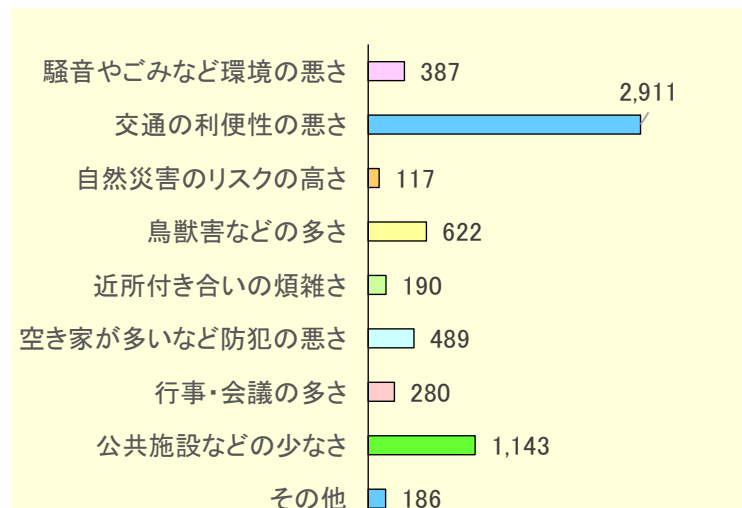
### 住んでいて「良くない」と思うこと

「交通の利便性の悪さ」が、内容は少しずつ異なるところがありますが、全体の割合では46.0%と、半数近くになっています。

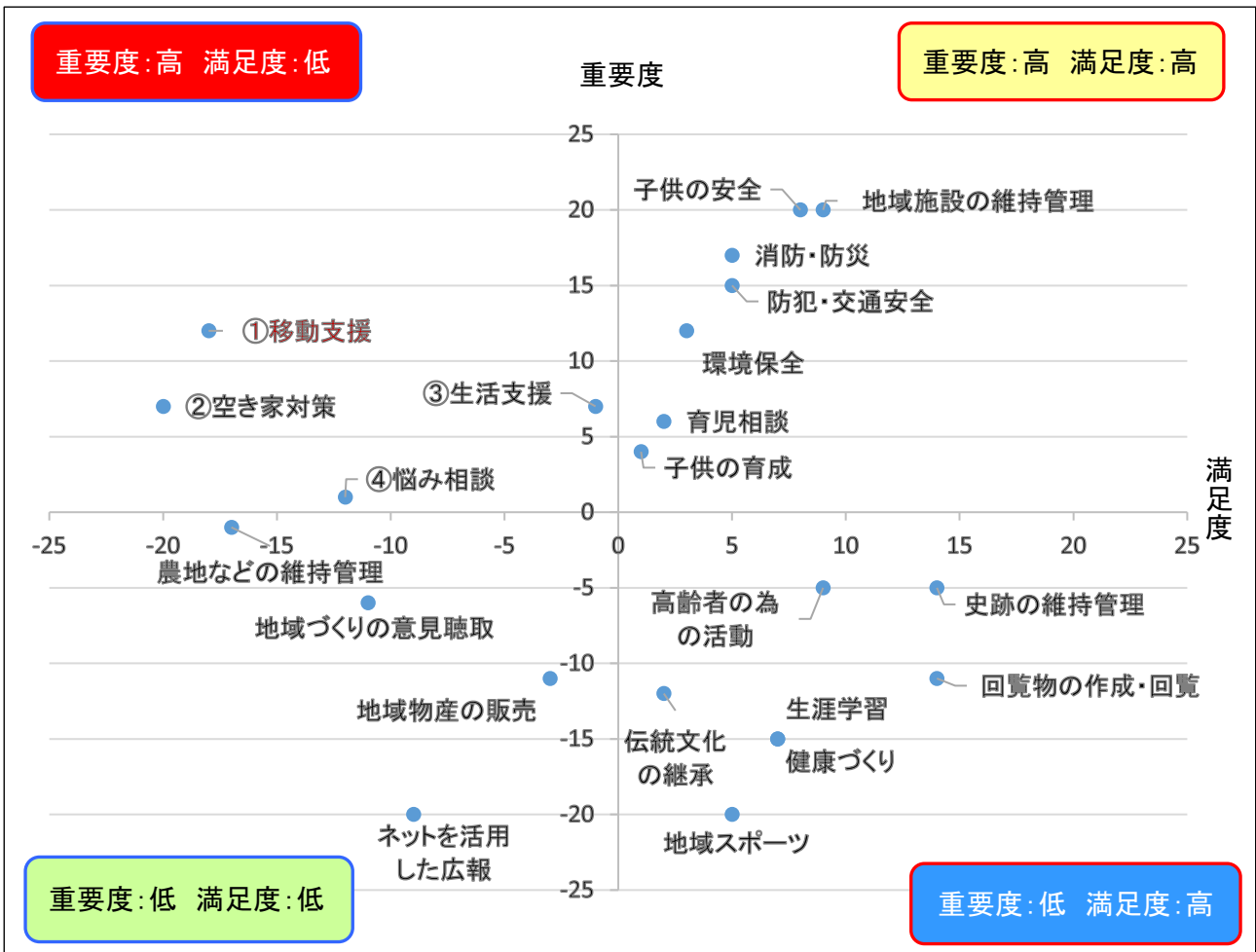
「公共施設などの少なさ」は、全体の18.1%になっています。

(理由)

- 公共交通機関が少なく、不便である。
- 免許証返納後の生活が不安。
- 商店、コンビニ、スーパー、病院などが近くにない。
- 車の騒音、畜舎の悪臭がする。
- 子どもの遊び場、公園が少ない。
- 空き地、道路沿いに、雑草やポイ捨てごみが多い。



重要度と満足度の相関図（全体）（アンケート結果から）



重要だと思う課題と課題に対する満足度では、重要度が高く満足度が低い項目として、①移動支援 ②空き家対策 ③生活支援 ④日常の悩み相談 が挙げられます。

①の移動支援について、石薬師地区の公共交通機関は、最寄りの鉄道駅としてはJRの河曲駅と加佐登駅となり、地区内ではCバスの庄内神戸線と国道1号線を走る三重交通(株)の路線バス、それにタクシーになります。今後、一層の高齢化が進む中、免許証返納者の移手段の確保など、移動支援体制の構築は地域としても特に重要な課題です。

②の空き家対策については、景観形成や防犯、防災、住みやすさなど、地域のまちづくりに深く関与する問題です。

③の生活支援と④の日常の悩み相談については、アンケートで受け手側としては、生活をする上での現在の不安や困りごと、今後の取り組みの要望となり、支援する側としては、健康に関すること、農地などの管理に関すること、介護に関することの順となっており、相談体制や支援体制の構築を図る必要があると考えられます。



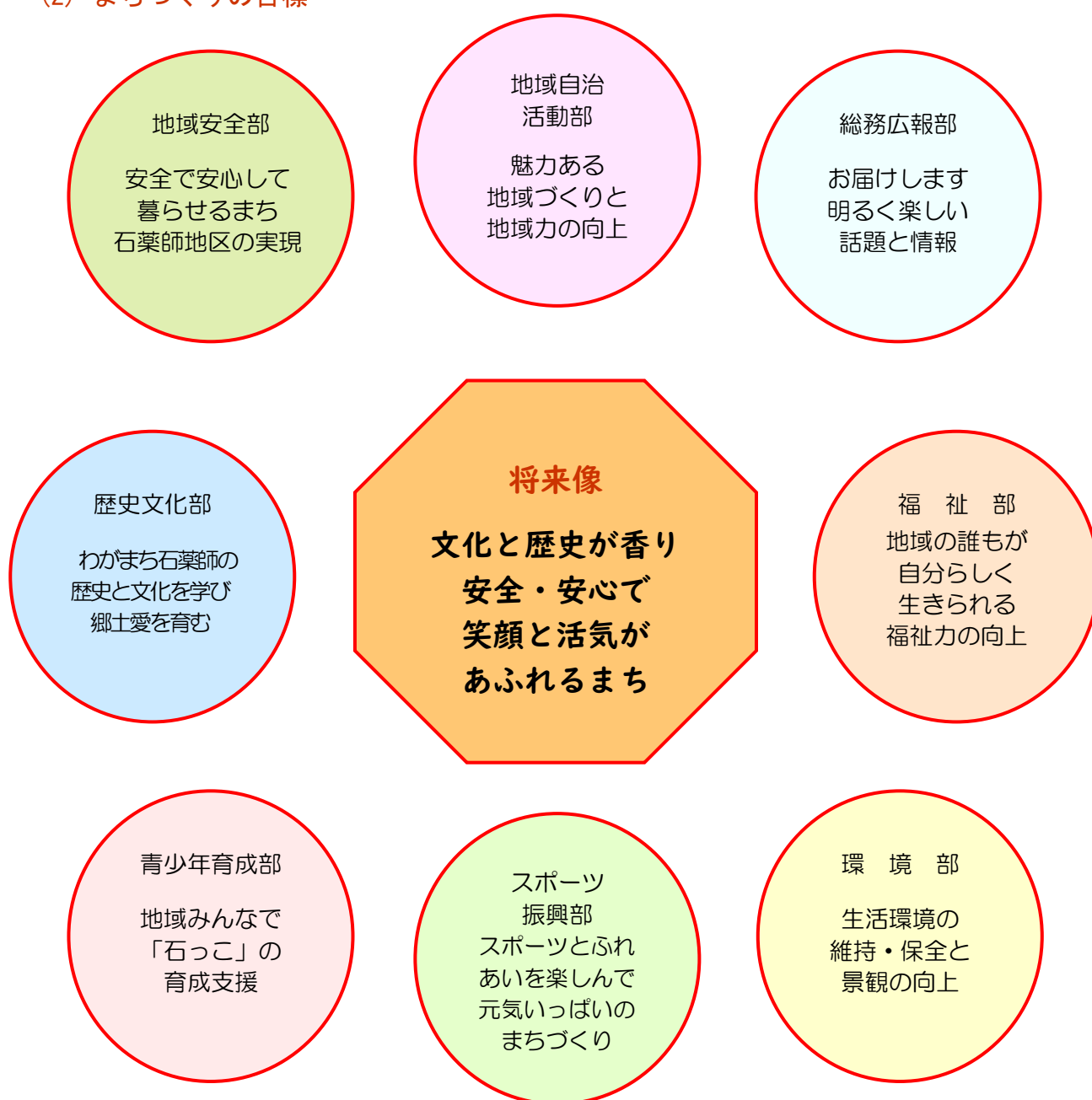
## 2. 10年後の将来像とまちづくりの目標

### (1) 石薬師地区のまちづくりの将来像

住民アンケートの結果や石薬師地区の特性を基に、私たち地域に暮らす住民が目指したい10年後の石薬師地区のまちの将来像を次のとおりとしました。

**文化と歴史が香り 安全・安心で  
笑顔と活気があふれるまち**

### (2) まちづくりの目標



### 3. 専門部のまちづくり計画書

#### 地域自治活動部

少子高齢化・人口減少社会を迎えた中、自治会活動を通じ住みよい地域社会を形成するため、「地域づくりへの住民参加の推進」に努め、魅力ある地域づくりに励むとともに、地域力の向上を目指します。

#### 目標

## 魅力ある地域づくりと地域力の向上

#### 現状

- 1 地域自治活動部は、石薬師地区 20 自治会の会長が専門部員となり、各地区自治会活動を通じ、地域の課題解決や地域住民のニーズを考慮した活動を行っています。

自治会一覧（令和2年3月現在、アンダーラインは認可地縁団体として法人化済み）

石薬師町南町、石薬師町中町、石薬師町本町、石薬師町北町、上野町、レインボー石薬師、石薬師町信誠東部、石薬師町信誠西部、石薬師町鞠鹿野、上田町本里、上田町山の花、上田町山の原、上田町新田、上田町栗峯、アートヒル、自由ヶ丘第一、自由ヶ丘第二、自由ヶ丘第三、自由ヶ丘第四、自由ヶ丘第五

- 2 各自治会がそれぞれに活動を行っており、それらの情報を共有し、ときには協働することにより、地区全体の会員の親睦と交流を図っています。
- 3 住民の意見、要望などを取りまとめ、行政との連絡、調整、協議を行うなど、課題の解決に向けた取り組みを行っています。
- 4 活動を継続し、活性化していくために、先進地を視察したり、役員など関係者の研修を行ったりしています。
- 5 自治会や団体の役員などの担い手が減少しており、祭りや地区行事の維持がだんだんと難しくなっています。



## 今後の取組み

地域での生活上の問題を解決していくには、住民が協力して取り組む必要があります。そのためにも、住民同士がよく知り合い、交流を深めることが大切です。

人々の意識が多様化し、地域の結束力も、ともすれば弱まってきていると言われています。そこで、次のような事業に取り組みます。

## 1 地域づくりへの住民参加の推進

- 各自治会からの課題の解決に向けて、相談体制や支援体制の構築を進めます。
- 自治会役員などの後継者不足に対応するため、人材の発掘と育成に努めます。
- ボランティアなどによる支援事業の検討を、関係部門と連携して進めます。

## 2 魅力ある地域づくりと地域力の向上

- 「自助・共助・公助」に加え、近所同士のつながりを深める「近助」を学習し、活動に取り入れています。
- 「自然の豊かさ」「災害が少なく、安全な環境」など、地域の魅力を活かす取り組みを実施します。

| アクションプラン         | 具体的テーマ           | 目 標 (具体的な取り組み) |              |         |        |        |
|------------------|------------------|----------------|--------------|---------|--------|--------|
|                  |                  | 現 状            | 令和2年度        | 3年度     | 4年度    | 5年度    |
| 地域づくりへの住民参加の推進   | 課題に対する相談・支援体制の構築 | 相談体制           | 構築           | ➡       | 充実     | 充実     |
|                  |                  | 要望書など整理        | 優先順位決定の手順書作成 | 手順書運用   | ➡      | 事業継続   |
|                  | 後継者人材発掘・育成       | 人材発掘・育成        | 手法を検討        | 勉強会実施   | 事業実施   | 事業継続   |
|                  | 支援事業の検討          | ボランティアなどの支援事業  | 調査研究         | 体制構築検討  | 支援事業試行 | 支援事業始動 |
| 魅力ある地域づくりと地域力の向上 | 自治会活動の継続         | 地域のつながり        | 活動継続         | ➡       | ➡      | ➡      |
|                  | 魅力を活かす取り組み       | 地域の魅力発信        | 地域の持つ強みを発信   | 地域の魅力紹介 | ➡      | ➡      |

総務  
広報部

総務広報部の役割は、地域住民の皆さんに、まちづくり協議会の活動の目的や専門部が行う事業、地域の話題などをお伝えすることです。情報を分かりやすく発信することにより、まちづくり協議会への関心と認知度を高めていただくことです。

このような活動を続けることにより、まちづくり協議会への信用度を高め、活動を継続していくために必要な資源（ヒト・モノ・カネ）を得られるようにすること、これがもう一つの役割です。

目標

## お届けします 明るく楽しい話題と情報

### どんなまち こんなまちです 石薬師

現状

- 1 まちづくり協議会の改編に合わせて、「石明協だより」を年4～5回発行しています。  
(A4版4ページ・カラー)
- 2 「地域づくりとは」とか「地域計画とは」といった考え方や、コミュニティでの活動などをお知らせしています。
- 3 各専門部の年間活動計画や事業計画の情報を収集し、年間での広報活動計画を立てています。
- 4 毎月1回、行政の支援職員を交えて定例部会を開催し、知識の習得や研鑽に努めています。
- 5 組織が安定した活動を継続できる資金を確保するため、最も効率の良い成功事例などの調査、研究を行っています。



A4版 4 ページの石明協だより



毎月1回開催の部会

## 今後の取組み

- 1 石明協だよりの発行回数を増やし、情報提供回数を向上します。
- 2 ホームページやSNS(※1)など、新たな情報提供のシステムなどを調査、研究、構築します。
- 3 情報提供システムの構築に合わせ、ネット上での意見募集、アンケートなどの実施を目指します。
- 4 情報保護、危機管理、法令遵守、広報の在り方などの研修会を開催し、役員など関係者の知識、認識の向上に努めます。
- 5 各種関係団体、事業所などに働きかけ、協賛金などの拡大に努めます。
- 6 コミュニティビジネス(※2)や有償ボランティア制度(※3)を調査、研究し、実現を目指します。

| アクションプラン        | 具体的テーマ                       | 目 標 (具体的な取り組み) |                                 |                   |           |     |
|-----------------|------------------------------|----------------|---------------------------------|-------------------|-----------|-----|
|                 |                              | 現 状            | 令和2年度                           | 3年度               | 4年度       | 5年度 |
| 石明協だよりの発行・媒体の充実 | 発行回数の向上                      | 年 4回           | 年 6回                            | ➡                 | ➡         | ➡   |
|                 | 情報提供の認識アップと情報収集              | 専門部情報年 1回      | 講習会の開催                          | ➡                 | ➡         | ➡   |
|                 | 機器・設備の設置とスキルアップ              | PC 1台          | 行政との協議、研修会の開催                   | 情報保護・危機管理方針の確立、周知 | ➡         | ➡   |
|                 | 新たな広報媒体の充実                   | 新規             | 調査・研修                           | SNSの部分試行          | SNSでの情報提供 | ➡   |
|                 | 人材の発掘と育成                     | 検討             | 公募制などの検討                        | 育成と研修             | ➡         | ➡   |
| 活動資金の確保と財政の安定化  | 協賛金の確保                       | 新規             | 事業所などへ周知・依頼                     | ➡                 | ➡         | ➡   |
|                 | 行政・公共・民間団体などの助成金・補助金の調査とデータ化 | 新規             | 助成金など、コミュニティビジネス・有償ボランティアの調査、研究 | 対象事業の実行           | ➡         | ➡   |

※1 SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)：人と人の交流を助け、促進するためのインターネット上のサービス(フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、ユーチューブ、ラインなど)

※2 コミュニティビジネス：地域が抱える課題を、地域住民が主体となって地域資源を活かしながら、ビジネス的な手法によって解決しようとする事業のこと

※3 有償ボランティア制度：交通費の実費だけでなく、謝礼などの金銭や活動経費の一定額の支給を受けて活動を行うボランティア

福祉部

少子高齢化が進み、住民生活は、日常の移動、行動範囲が狭くなり、自助力・生活力が低下しています。

また、将来を担う子ども達のためにも、福祉部では、住み慣れた地域で暮らすための住民の安心ネットワークづくりに取り組みます。

目標

## 地域の誰もが自分らしく 生きられる福祉力の向上

~~~~~みんなが幸せになる~~~~~

現状

- 1 石薬師地区の高齢化率は29.1%（平成27年国勢調査）で、鈴鹿市全体の23.9%に比べて高齢化率が高い地域です。
- 2 公共交通機関の利便性が低いことから、自動車運転免許証や自家用車の保有率が高く、60歳代以下で90%以上、80歳以上でも45%の人が運転免許を持っています。
- 3 住民の健康増進の事業として地域のイベントで「健康コーナー」を設け、地域の福祉施設の協力を得て、身長・体重をはじめ、血圧・握力・血管年齢・骨密度などの測定を行うほか、健康相談、栄養指導などを行っています。
- 4 健康寿命を延ばすことを目標に、年間を通し、体の健康、頭の健康、心の健康を維持増進するための活動や、今後の豊かな生活設計を描く知識を得るため、法律、相続などの勉強会を行っています。



ふれ愛フェスティバルで健康コーナーを開設。体力測定や健康相談なども実施

## 今後の取組み

- 1 高齢者などの移手段の確保に向けて、地域の現状と先進事例や制度などを調査、研究し、地域に合った手段を選び、実現化を目指します。
- 2 緊急時の安全・安心を高め、効果的な行動、活動ができるように、関係部門や団体と協働して、生活圏ごとの防災マップを作成します。
- 3 地区のイベントやサロンの場などを活用し、健康づくり、健康寿命の延伸を目指した事業、活動を拡大します。
- 4 要支援者（児）が地域で孤立しないよう、見守りなどの活動を通じて、地域とのコミュニケーションづくり、絆づくりを行います。

| アクションプラン                    | 具体的テーマ           | 目 標（具体的な取組み）                |                 |                        |                 |                  |
|-----------------------------|------------------|-----------------------------|-----------------|------------------------|-----------------|------------------|
|                             |                  | 現 状                         | 令和2年度           | 3年度                    | 4年度             | 5年度              |
| 要支援者（児）の移手段の確保、方法を解決するための活動 | 地域に合った手段の選択と事業化  | 新規                          | 交通手段の現状把握・情報収集  | 調査・研究視察                | 関係団体などとの協議、試行   | 試行から事業化へ         |
| 緊急時に備えた安全・安心活動              | 防災マップの作成         | 新規                          | 調査と現状の把握        | マップの作成                 | 内容の更新           | マップを活用した防災訓練     |
| 健康寿命を延ばす活動                  | 健康寿命を延ばす事業の継続と拡大 | 継続と居場所の拡大                   | サロンなど地域での居場所の確保 | 気軽に参加できる居場所づくりの拡大の調査検討 | 活動場所の拡大。開催回数の充実 | さらなる居場所づくりを目指す   |
| 地域活性化の活動                    | イベントを活用し内容の充実    | イベントなどでの健康コーナー、健康相談、栄養指導の実施 | ニーズの把握、改善の検証    | ニーズの把握と内容の見直し          | 幅広いPR方法や活性化の検討  | 本格的にPRと地域活性化を目指す |

環境部

人口減少、高齢社会の進行は、石薬師地区での生活を取り巻く環境にも耕作放棄地の増加や里山の荒廃、鳥獣被害の増加など、様々な影響を与えています。

環境部では、地域の生活環境の維持と保全、環境美化運動を進めることにより、誰もが住みやすいと実感することができるまちづくりを目指して活動します。

目標

## 生活環境の維持・保全と景観の向上

現状

- 1 県道の道路整備に伴って設けられた花壇を、花木産地の強みを生かして整備を進め、年間を通して維持、管理をしています。
- 2 佐佐木信綱作詞の「夏は来ぬ」で知られる『うの花』でのまちづくりを進めるとともに、地元自治会と協力して、「うのはな街道」の維持、管理に努めています。
- 3 高齢化による担い手の減少や地域の出合い作業などの衰退により、農地の耕作放棄地や管理されていない里山が増えたり、道路沿いで雑草が生い茂ったりしてきています。
- 4 後継ぎがいなかったり、近くに住んでいないことなどから空き家が増加し、地域の景観が悪化したり、防犯・防火上で問題になったりしてきています。



石薬師宿の掲示板の周りにオタフクナンテンやタマリユウなどを植え付け



部員や協力者で県道沿いに花壇を整備





今後の取組み

- 1 現在実施している県道沿いの花壇と「うのはな街道」の維持、管理、『うの花』を活用したまちづくり活動を継続します。
- 2 各地区での活動状況を調査し、状況に応じて、関係自治会などと協議を行い、新たな花壇整備の拡大に取り組みます。
- 3 現在行われている見守り活動や安全パトロールなどとの連携を試み、ごみ拾いや雑草の刈りなどの機会を充実し、地域の美化活動を強化します。
- 3 空き家・空き地・遊休農地などの現状を把握し、関係部門との協働、連携を図り、地域の資源として活用できる仕組みづくりに取り組みます。



4月後半の連休ごろから、  
地域を彩る『うの花』の花



信誠地区から鞠鹿野地区への  
市道沿いの「うのはな街道」

| アクション<br>プラン                  | 具体的な<br>テーマ            | 目 標 (具体的な取組み)  |                     |            |             |            |
|-------------------------------|------------------------|----------------|---------------------|------------|-------------|------------|
|                               |                        | 現 状            | 令和2年度               | 3年度        | 4年度         | 5年度        |
| 生活環境の<br>保全                   | 県道沿い<br>花壇の<br>維持、管理   | 通年で維持<br>管理を実施 | 継続                  | ➡          | ➡           | ➡          |
|                               | 花壇整備<br>箇所の拡大          | 新規             | 状況調査                | 実施検討       | 実施          | 拡大         |
|                               | 地域環境<br>美化の強化          | 新規             | 現状整理                | 地域での<br>活動 | 継続と<br>拡大検討 | 実施         |
| 空き家・後継<br>者の調査と<br>地域の<br>活性化 | 空き家の<br>調査、活用<br>方法の検討 | 新規             | 現状調査と<br>仕組みの<br>整理 | ➡          | ➡           | 継続調査<br>実施 |
|                               | 農業・農地<br>の後継者<br>調査    | 新規             | 仕組み整理               | 現状調査       | ➡           | 継続調査<br>実施 |

スポーツ  
振興部

スポーツは、体と心を健康で豊かにするとともに、スポーツの楽しさと喜びを感じて、世代間のふれあいと交流を促進し、地域活動の発展に貢献します。

スポーツ振興部では関係部門や団体と連携を取りながら、スポーツを通して地域の人と人との交流やふれあいを深め、地域の親睦と思いやりの輪を広げ、明るく楽しいまちづくりに取り組みます。

目標

## スポーツとふれあいを楽しんで 元気いっぱいのまちづくり

現状

- 1 春季と秋季に、地区・自治会対抗形式による球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール）を実施しています。また、個人参加の形でのグラウンドゴルフ大会も実施しています。
- 2 住民と地区選出の体育委員を対象に、年1回、気軽なスポーツ体験教室（ファミリーバドミントン・カローリング・ヘルスバレーボール）を実施しています。
- 3 石薬師小学校の体育館を、毎週土曜日夜7時から解放しており、多くの方がファミリーバドミントンを楽しんでいます。この中から毎年、鈴鹿市の大会に参加する人が多くいます。
- 4 鈴鹿市行事（いきいきスポーツ大会・鈴鹿市シティマラソン大会）などへの参加と協力を行っています。



ソフトボール大会



ソフトバレーボール大会



グラウンドゴルフ大会



スポーツ体験教室  
(カローリング)

今後の取組み

- 1 現在行っている大会などの継続を前提にしながら、地区対抗方式の在り方やチーム編成の方法などについて、調査、研究を行います。
- 2 誰もが、年齢や体力に応じて参加できるニュースポーツなどを取り入れ、スポーツの楽しさを提供していきます。
- 3 関係部門などと協議をしながら、ウォーキングに注目し、ウォーキング教室の開催や地区内のウォーキングマップの作成など、健康の維持増進に役立つ取り組みを進めます。
- 4 石薬師小学校体育館の改築に合わせ、スポーツ振興部、石薬師小学校施設開放委員会、鈴鹿市スポーツ推進員などと、組織・役割の在り方やスポーツの推進、イベントの開催などについて、連携、協働して協議を進めます。
- 5 三重とこわか国体・三重とこわか大会（2021年）の開催に向けた観覧PRを行っていきます。石薬師地区では、馬術競技場（県消防学校南側）で馬術競技が行われます。ぜひ観て、参加して、楽しみましょう。



| アクションプラン                      | 具体的テーマ               | 目 標（具体的な取り組み）  |               |               |              |     |
|-------------------------------|----------------------|----------------|---------------|---------------|--------------|-----|
|                               |                      | 現 状            | 令和2年度         | 3年度           | 4年度          | 5年度 |
| 球技大会などの内容の検討                  | 対抗方式・チームの検討          | 地区別対抗<br>地区別編成 | 意見の調査<br>と集約  | 方向性の<br>検討と結果 | 新たな方法<br>の提案 | 試行  |
| 誰もが参加<br>できる<br>スポーツと<br>イベント | 種目の検討                | 軽スポーツ<br>の実施   | 継続<br>調査・研究   | 随時実施          | ➡            | ➡   |
|                               | ウォーキン<br>グマップの<br>作成 | 新規             | 関係部門<br>との協議  | 調査継続          | 着手           | 作成  |
| 関係団体と<br>の協議、<br>調整           | 役割、事業<br>などの分担       | 検討中            | 呼びかけ<br>調整・協議 | ➡             | 再構築          | ➡   |

青少年  
育成部

少子化の現象の一つである子ども同士の交流の減少は、子どもの健やかな成長にも影響があると言われています。

青少年育成部では、石薬師の未来を担う子どもたちが元気に育ち、地域が活気を持続していけるように、地域全体で子育てを支援していく事業を進めていきます。

目標

## 地域みんなで「石っこ」の育成支援

現状

- 1 児童生徒の朝の登校時に、地域の皆さんによる通学路での見守り活動が行われています。ただ、各団体がそれぞれに活動しているために、連携が十分に取れておらず、効果的、効率的でない面があります。

また、下校の時間帯は、参加者の数が減少するため、活動が手薄になり、不安な状況となっています。

- 2 放課後などに、児童が有意義な生活を送れるように公園や広場、校庭などがありますが、近年では、子どもたちの姿を見かけることが減ってきています。

また、子ども会をはじめとし、子どもに関わる団体の会員である子どもの数も減少しています。

- 3 核家族化などにより、子育てや見守りは家族で行うことになり、近所の人との関わる機会が減る一方で、地域の住民側でも、子どもたちに対する関心が低くなっています。

- 4 就職、結婚、子育てをする年齢層の若者が、気軽に立ち寄れる場所や、活動・交流する機会が少なくなっています。



## 今後の取組み

- 1 通学路の見守り活動について、各団体がそれぞれに行っている活動体制を見直し、効率的で効果的な成果が表れる活動としていきます。
- 2 児童が、放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・経験ができるように、地域住民の協力を得て、公民館などを利用して放課後子ども教室の開設を目指します。
- 3 自分たちが子どものころに経験した体験を通して、子どもとの交流を深めようとする“世話好きな大人”を発掘するとともに、子どもは地域で育てるという想いを地域に広めます。
- 4 子どもが集まる地域の行事や集まりは、大人にとっても子育ての悩み、楽しみを話し合える人に出合える場や、アドバイスをし合ったり、気分転換になったりする場になります。親子ふれあい教室や親・保護者向けの教室などの開催を目指します。



| アクションプラン      | 具体的なテーマ              | 目標（具体的な取組み） |                     |              |            |     |
|---------------|----------------------|-------------|---------------------|--------------|------------|-----|
|               |                      | 現状          | 令和2年度               | 3年度          | 4年度        | 5年度 |
| 安心・安全な環境づくり   | 通学路の点検と見守り           | それぞれの団体での実施 | 実施方法の再確認と調整見直し      | 効率的なパトロールの実施 | ➡          | ➡   |
| 子どもの居場所づくり    | 放課後子ども教室             | 新規          | ニーズなどの調査・研究<br>人材確保 | 試行<br>計画・申請  | 教室の開講      | ➡   |
| 地域での子育ての風土づくり | 保護者・住民向け講習会・交流会      | 新規          | 内容の調査<br>人材・場所の確保   | 計画・試行        | 評価・検討を加え継続 | ➡   |
| 情報の発信         | 様々な媒体で呼びかけ<br>認識度 UP | 新規          | 情報収集と整理、発信          | ➡            | ➡          | ➡   |

歴史  
文化部

石薬師地区は、長い歴史と文化に富んだ地区です。  
歴史文化部では、そんな歴史や文化を大切にし、再発掘し、広く  
情報を発信することで地域への関心を高め、郷土愛を育てていきます。

目標

## わがまち石薬師の歴史と文化を学び 郷土愛を育む

現状

- 1 歴史の掘り起こしについては、大まかな年次計画に基づいて年度当初に調査テーマを設定し、調査結果を年度末に冊子にまとめ、発行しています。

文化財や史跡などがたくさんありますが、資料が分散したり、残っていなかったり、関係者の高齢化などで、選択したテーマの情報収集や聞き取りが難しくなっています。

地区内の史跡、遺跡などに案内板や説明板が設置されていますが、設置者が不明であったり、管理が不十分だったり、改修、修繕の必要なものが多くあります。

- 2 石薬師小学校に郷土資料室が設けられています。

令和元年に再整備をし、地域住民にも月1回、開放しています。

- 3 石薬師公民館や佐佐木信綱記念館などを拠点に、文化活動を続けている団体やグループがありますが、密接に協働、連携できた活動の展開までには至っていません。



小冊子：歴史再発掘—1

## 今後の取組み

- 1 歴史再発掘テーマを毎年設定して調査し、結果を冊子という形で発信していきます。
- 2 郷土資料室の充実と、小学校での授業への活用を目指します。
- 3 歴史や文化に興味や関心がある人材を発掘し、活かせるようにします。

| アクション<br>プラン | 具体的<br>テーマ       | 目 標 （具体的な取組み）    |                                |                              |                       |                    |
|--------------|------------------|------------------|--------------------------------|------------------------------|-----------------------|--------------------|
|              |                  | 現状               | 令和2年度                          | 3年度                          | 4年度                   | 5年度                |
| 歴史再発掘        | 情報の収集<br>と<br>発信 | 歴史再発掘<br>- 1 の発行 | 寺の歴史を<br>中心に<br>再発掘            | 旧東海道の<br>紹介                  | 戦時中の<br>石薬師           | 産業の推移              |
| 郷土資料室        | 資料室の<br>活用       | 資料室の<br>再整備      | 月1回の<br>開放日の<br>運営             | 展示物の<br>内容充実                 | 小学校授業<br>での活用に<br>参加  | 資料室の<br>在り方<br>再検討 |
| 文化の考察        | 石薬師の<br>文化とは     | 部内での<br>話し合い     | 文化に対す<br>る石明協全<br>体の考えの<br>統一化 | 文化充実の<br>ための<br>地域への<br>聴き取り | 【石薬師の<br>文化とは】<br>の発信 | 人材の<br>発掘・育成       |

地 域  
安全部

地域安全部は、自治会、警察、消防分団、交通安全協会、防犯協会などの関係機関と連携を図り、地域ぐるみで防火・防災・防犯・交通事故防止に取り組み、地域住民が安全で、安心して暮らしていけるまちの実現を目指します。

目 標

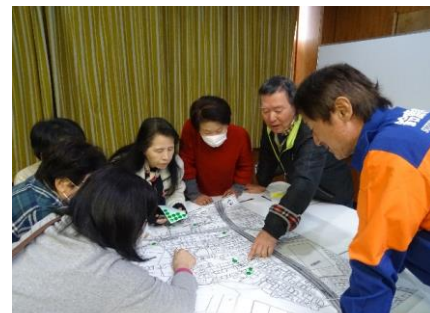
## 安全で安心して暮らせるまち 石薬師地区の実現

現 状

- 1 石薬師地区は、区域が概ね鈴鹿川の左岸台地にあり、地盤はほぼ強固で、鈴鹿市が公表している防災マップでも、一部の急傾斜危険地を除き、地震や津波、水害が危険な地域とはされていません。ただ、このような状況からややもすると緊張感や危機感が薄れてしまい、非常時に対する準備、避難準備などが万全とは言い切れなくなっています。
- 2 近い将来、発生が予測されている「南海トラフ地震」や、近年多発している豪雨災害に備え、自主防災隊の合同訓練やイベントに合わせて防災・消火訓練などを実施しています。



- 3 自分の住む地域には、どこに防災設備があり、どこに危険箇所があるかを普段から知っておくことも大切です。そのために、年に2回、自治会を巡回する方式で、タウンウォッチングと図上訓練も実施しています。





## 今後の取組み

現在行っている事業を引き続き継続しながら、自治会や関係団体と協働、連携し、新たな事業も展開していきます。

- 1 タウンウォッチングなどで地域の現状を把握し、状況に応じて、鈴鹿市が実施している耐震診断や耐震補強工事、家具固定事業、ブロック塀など除却工事などの支援事業を活用し、防災・減災対策を進めます。
- 2 通学路・生活道路の安全性と犯罪防止を高めるため、集落間や地域内の暗がりや減らす街路灯・防犯灯の増設や、交差点周辺の空き地の雑草除去を進めます。
- 3 火災や犯罪の予防の効果を含め、地域の景観や活気を演出するため、土地・建物の所有者の協力を得て、空き家や空き地の有効活用を促進します。



空き家をリノベーション（改装）し、憩いの場や店舗などに活用

| アクションプラン    | 具体的テーマ        | 目 標（具体的な取り組み） |            |             |             |      |
|-------------|---------------|---------------|------------|-------------|-------------|------|
|             |               | 現状            | 令和2年度      | 3年度         | 4年度         | 5年度  |
| 地域防災力の強化    | 防災・減災事業の推進    | 新規            | 対象物件の調査・把握 | 調査・把握のデータ化  | 事業の選択協議・申請  | ➡    |
|             | 自主防災隊合同訓練     | 年1回の実施        | 継続         | ➡           | ➡           | ➡    |
|             | まち歩き図上訓練      | 年2回           | 継続         | ➡           | ➡           | ➡    |
| 犯罪・事故の予防と削減 | 街路灯防犯灯の増設     | 新規            | 調査と結果の報告   | 優先順位などの協議決定 | 順次実施        | ➡    |
|             | 空き家と空き地の管理、活用 | 新規            | 調査研究       | 手法の学習 事例研修  | 手法の選択 事業化協議 | 事業実施 |
|             | 道路標識の整備       | 新規            | 現状把握       | 手法を検討       | 優先順位の決定     | 事業実施 |

## 4. 参考資料

### (1) 地域計画策定経過

|       |        |                                                                                   |
|-------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 平成30年 | 5月23日  | 石薬師地区明るいまちづくり推進協議会総会<br>『組織の再編について』                                               |
| 令和 元年 | 5月29日  | 石薬師地区明るいまちづくり推進協議会総会<br>名称の変更、地域計画の策定等について                                        |
|       | 6月18日  | 第3回役員会<br>住民アンケートの実施について                                                          |
|       | 7月16日  | 第4回役員会<br>住民アンケート（ワーキンググループ（WG）の設置、<br>メンバーについて                                   |
|       | 7月26日  | 第1回住民アンケートWG会議<br>アンケートの内容、調査方法について                                               |
|       | 8月 5日  | 第2回アンケートWG会議<br>調査内容、実施時期、配布方法について                                                |
|       | 8月20日  | 第5回役員会<br>住民アンケート配布回収方法について                                                       |
|       | 9月17日  | 第6回役員会<br>住民アンケート配布回収方法詳細について                                                     |
|       | 9月20日  | アンケート用紙の配布（自治会経由）                                                                 |
|       | 9月30日  | アンケート用紙の回収                                                                        |
|       | 10月15日 | 第7回役員会<br>アンケートの入力作業について                                                          |
|       | 11月13日 | 臨時役員会<br>地域計画策定委員会の設置について                                                         |
|       | 11月14日 | 第3回住民アンケートWG<br>基本項目の集計結果について                                                     |
|       | 12月17日 | 第1回地域計画策定委員会<br>委員会メンバー、専門部会別WGの設置、作業の進め方、<br>取組みシートの作成について<br>※ 以降各専門部会にてWG 随時開催 |
| 令和 2年 | 2月 5日  | 第2回地域計画策定委員会<br>将来像、基本目標、先進事例等について                                                |
|       | 2月27日  | 第3回地域計画策定委員会<br>専門部地域計画策定案について                                                    |
|       | 3月12日  | 第4回地域計画策定委員会<br>※ 新型コロナウイルス感染症対策の為中止                                              |
|       | 3月17日  | 第12回役員会 計画素案最終校正依頼                                                                |
|       | 3月24日  | 最終校正箇所提出                                                                          |
|       | 3月26日  | 地域計画書の校了                                                                          |

## (2) 地域計画策定委員会メンバー

## ◆ 専門部など選出委員

|           |       |       |
|-----------|-------|-------|
| 【地域自治活動部】 | 今西 義則 | 藤井 尉  |
| 【総務広報部】   | 山崎 昭  | 中口 英治 |
| 【福祉部】     | 野田うた子 | 黒田 卓也 |
| 【環境部】     | 伴 紀征  | 三谷 芳美 |
| 【スポーツ振興部】 | 井原 敏男 | 山崎 武  |
| 【青少年育成部】  | 近藤 春生 | 水野 文吾 |
| 【歴史文化部】   | 林 詔幸  | 藤田 和美 |
| 【地域安全部】   | 川北 淳二 | 川北 義和 |
| 【協議会事務局】  | 岩谷 薫  | 永戸 智子 |
| 【鈴鹿市支援職員】 | 山口 和也 | 伊藤 泰延 |

## ◆ オブザーバー

|          |       |
|----------|-------|
| 【協議会会長】  | 熊沢 逸雄 |
| 【協議会副会長】 | 谷口 光男 |
| 【協議会会計】  | 山田 雅一 |

## ◆ 専門部ワーキンググループ（アンダーライン：鈴鹿市支援職員）

|           |              |              |              |              |
|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 【地域自治活動部】 | 川北 淳二        | 今西 義則        | 藤井 尉         | <u>伊藤 泰延</u> |
| 【総務広報部】   | 山崎 昭         | 中口 英治        | 岩谷 薫         | 内藤 良博        |
|           | 藤井 尉         | 伊東 良司        | 永戸 智子        | 佐々木三喜        |
|           | <u>佐藤 美佐</u> | <u>小林 勲</u>  |              |              |
| 【福祉部】     | 野田うた子        | 黒田 卓也        | 山田 雅一        | 田中美代子        |
|           | 谷口 了子        | 川北 秀夫        | <u>石坂 誠</u>  | <u>川北 哲夫</u> |
| 【環境部】     | 伴 紀征         | 三谷 芳美        | <u>服部 亨</u>  | <u>酒井 英人</u> |
| 【スポーツ振興部】 | 井原 敏男        | 山崎 武         | 杉本 稔         | 野崎 浩弥        |
|           | 七島 隆博        | 宮村 理人        | 熊沢 一衛        | 永戸香緒里        |
|           | 曾我部知奈美       | <u>川北 浩志</u> |              |              |
| 【青少年育成部】  | 近藤 春生        | 水野 文吾        | <u>川北 真司</u> | <u>河村 高行</u> |
| 【歴史文化部】   | 林 詔幸         | 藤田 和美        | 舟橋 憲治        | <u>三井かおり</u> |
| 【地域安全部】   | 川北 淳二        | 川北 義和        | 仙田 学         | 萩野 和洋        |
|           | 田中 克也        | 石川 典夫        | <u>岡田 匡人</u> | <u>竹岡 久司</u> |
|           | <u>加藤栄太郎</u> |              |              |              |

## 石薬師地区まちづくり計画書

令和2年（2020年）5月発行

編集／石薬師地区地域計画策定委員会

発行／石薬師地区明るいまちづくり協議会

〒 513-0012 鈴鹿市石薬師町 2022 番地の 1  
石薬師公民館 内

Tel: 059-374-2990 Fax: 059-374-4268

